

英語英米文学専攻博士後期課程の概要と特色

本課程では、グローバル化に伴う多様かつ複雑な課題の解決の一助となる普遍的な人間と文化の研究を人文・社会科学の観点から行う。また、社会的要請に応えるため、国際的感覚と異文化間コミュニケーション能力を身につけ、高度な専門知識と国際的水準の理論的・実証的研究を遂行する力をもって、広く国際社会へ貢献できる人材を育成することを目的とする。特に、英米文学・英語学言語学・国際コミュニケーションの領域において、それぞれの専門分野を牽引する研究者、並びに国際語としての英語を用いて日本と海外との学術交流・文化交流に貢献しうる高度専門職業人を養成することを旨とする。主に高等教育機関等における研究者とトランスファラブルスキルを身につけた専門的職業従事者という二つのキャリアパスを想定した教育を行う。

1. ディプロマ・ポリシー

本課程の所定の授業科目について20単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば博士（文学）の学位が授与される。

その際に、次のような能力や資質を身につけていることが求められる。

- (1) 英米文学、英語学言語学、国際コミュニケーション並びに関連分野にわたって高い関心を持ち、自身の専攻する分野について特に広範かつ高度な知識を身につけている。
- (2) 論理的な思考力を持ち、専攻分野の学問領域に関わる諸問題を体系的かつ総合的に追究できる。
- (3) 研究対象を分析するための客観的な判断と健全な批判精神を備え、自身の見解を的確な言語で表現することのできる能力を有している。
- (4) 高度かつ専門的な英語力と本課程で修得した専門知識並びに横断的学識を生かして、広く国際社会に貢献しようとする積極的姿勢を有し、高度専門職業人としての問題解決能力を獲得している。

2. カリキュラム・ポリシー

本課程では、上記の教育目標を達成するために、研究指導科目としての「課題研究」に加え、英米文学分野、英語学言語学分野、国際コミュニケーション分野のそれぞれにおいて「特殊講義」科目を配置する。各分野の「特殊講義」科目においては、高度な研究遂行に必要な英語力を活用しつつ、論文執筆を見据えての問題設定と可能な研究・分析方法を選択し、高度な論理構築の力をつけることを目指す。また、「課題研究」科目を通して研究者としての論理構築の力をさらに鍛えながら独創的研究力を養い、具体的かつきめ細かな論文指導を行う。これらに加え「ヨーロッパ社会史」、「宗教社会学」、「外国語（英語）教育」や「キャリアデザイン」に関する科目を関連分野の中に配置し、それらの学びを通じて、より広範な視野に立って自身の研究の意義を追究できる科目編成を旨とする。

3. アドミッション・ポリシー

本課程は、博士前期課程修了の要件である基礎知識と研究能力および英語と日本語の運用能力を有し、英米文学、英語学言語学、国際コミュニケーションの分野における専門的テーマに関して理論的・実証的研究を遂行して専門研究の深化を図り、研究職や各種の専門職に幅広く適応しうる高度専門職業人を目指して学問に取り組もうとする強い意思がある者を受け入れる。